



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文  
 (コード番号 4722 東証第一部 )  
 問合せ先 執行役員 中島 由彦  
 (TEL (03) 5740 - 5724 )

## 平成 28 年 12 月期第 3 四半期連結業績 (累計) のお知らせ

### 1. 平成 28 年 12 月期第 3 四半期連結業績 (累計) について

当社グループの当第 3 四半期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日) の連結業績 (累計) は、

売 上 高	25,645百万円	(前年同期比	0.6%減)
営 業 利 益	2,626百万円	(前年同期比	17.6%減)
経 常 利 益	2,539百万円	(前年同期比	18.1%減)
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,555百万円	(前年同期比	10.8%減)

となりました。各セグメントの業績については以下のとおりです。

#### (1) ITコンサルティング事業

国内においては、流通業・サービス業等の主要顧客について、ITシステムの刷新・統合に係る大型案件を中心に売上が拡大したほか、複数の地方銀行への金融クラウド (SKYBANK) の導入を進めたことで、売上高は前年同期比で増加しました。一方、東南アジアの子会社の事業を縮小させたことにより、セグメントとしての売上は前年同期比で微増となりました。

また、当社グループ独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法 (FUTURENASA、Futurefraqta) に関し、ツールの追加や改良を行うとともに社員教育の徹底を図り、プロジェクトの品質向上や運営の効率化が進みました。これより粗利益は増加し、新卒の採用拡大による人件費や研修費等の増加はありましたが、営業利益は前年同期比で増益になりました。

この結果、売上高は15,681百万円 (前年同期比0.1%増)、営業利益は2,993百万円 (同0.2%増) となりました。

#### (2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、上半期において一部のプロジェクトの品質問題から新規の受注が遅れたことや、不採算の事業部門の整理を進めたことが影響して、第 3 四半期には営業利益が

回復したものの、第3四半期までの累計では売上高・営業利益とも前年同期比で減少しました。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムの受注が第3四半期に増加しましたが、プロジェクトスタートが遅れたことにより、第3四半期までの累計では、売上高・営業利益が前年同期比で減少しました。

この結果、売上高は2,511百万円（前年同期比19.4%減）、のれん償却額を反映した営業損失は198百万円（前年同期は166百万円の利益）となりました。

### （3）ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、前年に大ヒットしたフィットネス関連商品の取扱が無くなったにも関わらず、プライベートブランドのアウトドアやトレーニング用品のネット販売が好調だったことにより、売上高が前年同期比で増加しました。

東京カレンダー株式会社は、9月の月間ページビューが2,500万に達し、これまでの最高を更新しました。これにより、広告収入が増加したことに加え、Webと連動した雑誌広告も拡大したため、前年同期比で売上高が増加し、営業赤字幅は縮小しました。

コードキャンプ株式会社によるオンラインプログラミング教育サービスの提供などの事業については、新たなサービスの提供のための投資が先行している段階であります。

この結果、売上高は4,177百万円（前年同期比12.3%増）、のれん償却額を反映した営業損失は252百万円（前年同期は80百万円の損失）となりました。

### （4）企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店においては前年同期比で売上高は微減でありましたが、商品毎の売上高、仕入高及び在庫をITシステムによって分析することで、適切な仕入れを行い、粗利率の改善を実現し、営業利益が前年同期比で大幅に増加しました。

この結果、売上高は3,395百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は33百万円（同97.7%増）となりました。

なお、当社グループは株式会社魚栄商店の全株式を平成28年9月7日付で譲渡したため、株式会社魚栄商店（及びその子会社）を連結の範囲から除外しております。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。平成28年4月1日付で持株会社体制への移行により組織体制を整備したため、当第2四半期連結会計期間より、従来「ITコンサルティング事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益の調整額に費用として計上する方法に変更

し、各グループ会社からの業務委託料やグループ成長支援料等をセグメント利益の調整額に収益として計上する方法に変更しております。前年同期比については、前第3四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の区分及び測定方法に組み替えた上で比較を行っています。

## 2. 今後について：

### (1) ITコンサルティング事業

当社グループでは、これまで一貫して、経営革新・業務改革・システム改革を三位一体として、最新のITを活用することによって、顧客ビジネス改革の実現に貢献することを目指してきました。そのためにフューチャーアーキテクト株式会社では、ブラックボックス化したレガシーシステムを科学的に分析し、最新のオープンシステムとして再構築する手法

(Future Formula) やリアルタイムなデータ処理を可能にする自社製コンポーネント (Future Component) 及び独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法 (FUTURENASA、Futurefraqta) を活用して、グランドデザインから設計、開発、保守運用に至るまでの一貫したサービスを提供してきました。

今後については、AI、IoT、ビッグデータを活用したより高度で最新のITシステムを提供するために、これら新技術を活かした次世代のアーキテクチャーの開発を進めながら、より一層の受注を獲得して、顧客のビジネス改革に貢献してまいります。

また、すでに多くの顧客に導入をいただいている銀行向けの金融クラウド (SKYBANK) のみならず、小売チェーン向けの流通クラウド (SKYRETAIL) 等の業種特化型クラウドサービスの展開を推進してまいります。

フューチャーインスペース株式会社は、フューチャーアーキテクト株式会社との連携を高めながら、最先端の統合運用監視ツールを有効活用することにより、24時間365日対応など利便性と品質の高いITオペレーションサービスを提供してまいります。

### (2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、第4四半期に、外部連携を強化し、複数の言語に対応した新ブランドのパッケージ・ソフトウェア「InfiniOne」のと債務管理や自動通帳読取などの新機能を追加したクラウド会計ソフトウェア「MoneyOne」の販売を開始するとともに、自社Webサイトの全面リニューアルなどマーケティング施策を強化することにより、新規顧客の獲得を進めて、売上・利益の拡大を図ってまいります。また、販売チャネルの拡大のためにビジネスパートナーとの連携を推進してまいります。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムについて、既に受注した案件の確実なデリバリーに努めるとともに、営業活動を強化して一層の顧客パ

イプラインの拡大を図ります。また、フューチャーグループの会社との連携を強め、製品ライフサイクルマネジメント（PLM）など製造業向けのサービスの拡大を進めてまいります。

### （3）ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア及びフィットネス関連商品の戦略的な仕入れやプライベートブランド商品の企画などのマーチャンダイジング活動を強化するにより、適切な品揃えを実現し、売上・利益の成長を図ってまいります。また、オンラインフィットネスサービス「ポケットジム(略称ポケジム)」を開始しておりますが、今後もスポーツと健康をキーワードに新たなサービスに取り組んでまいります。

東京カレンダー株式会社は、雑誌媒体で培ってきた上質のコンテンツ創出力を、Web上において新たな形で提供することでユーザーの支持を受け、ページビューが急速に拡大してまいりました。これにより、雑誌とスマートフォンが連動する広告企画も獲得するようになっております。今後は、さらにリアルのレストランイベント「東カレナイト」とも連動した大型のプロモーションの受託し、ネットとリアルが融合した新しいメディアとして収益の拡大を図ります。

コードキャンプ株式会社は、個人や法人向けのオンラインプログラミング教育サービスの提供に加え、UI/UX、データ解析、プロトタイピングなどテクノロジーを中心とした新しいビジネススクール「TORIKAJI」や転職希望者のためのエンジニア養成プログラム「CodeIncubate」といった新しいサービスを開始することで、収益基盤の拡大に努めてまいります。

なお、平成28年12月期通期業績予想につきましては、前回発表（平成28年7月29日付）からの変更はございません。

以上

#### ●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 中島

IR 直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：[ir@future.co.jp](mailto:ir@future.co.jp)